



78200-XMK-KOSO FIT ASSIST METERS

取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。

取付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

ご注意

1. 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損のないことを確認して下さい。
2. 取り付け前に取り付け車両の型式のを行って下さい。
[適応車種] FIT (DBA-GK3~6、DAA-GP5) ※フェンダーウインカー車を除く
3. アシストメーターキットの装着は、ホンダディーラーもしくは専門の整備工場（認証工場）で行って下さい。
※本書の作業内容は、自動車整備士及び整備について知識を持った方を対象としています。経験の無い方のみでの組付け作業は怪我や事故または走行中の車両トラブル等をまねく恐れがあり、大変危険です。また、保障の対象外になりますので絶対に行わないで下さい。
4. 本製品は電子機器です。衝撃および湿気には十分注意し取扱い下さい。また、分解や改造は絶対に行わないで下さい。
5. ハーネスやコネクタに引張るなど無理な力が加わると故障や破損の原因になりますのでご注意下さい。コネクタを外す際は必ずツメを持ってから引き抜いて下さい。。
6. 純正パーツの取付け・取外しおよび配線・カプラの確認はサービスマニュアルまたは配線図集に従い作業を行って下さい。
7. 本製品の加工や分解、組付け不良、誤使用による不具合・事故等については、一切責任を負いませんのでご了承下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T E C 商品事業部 営業1課

【営業時間10:00~17:00 土日・祝日除く】

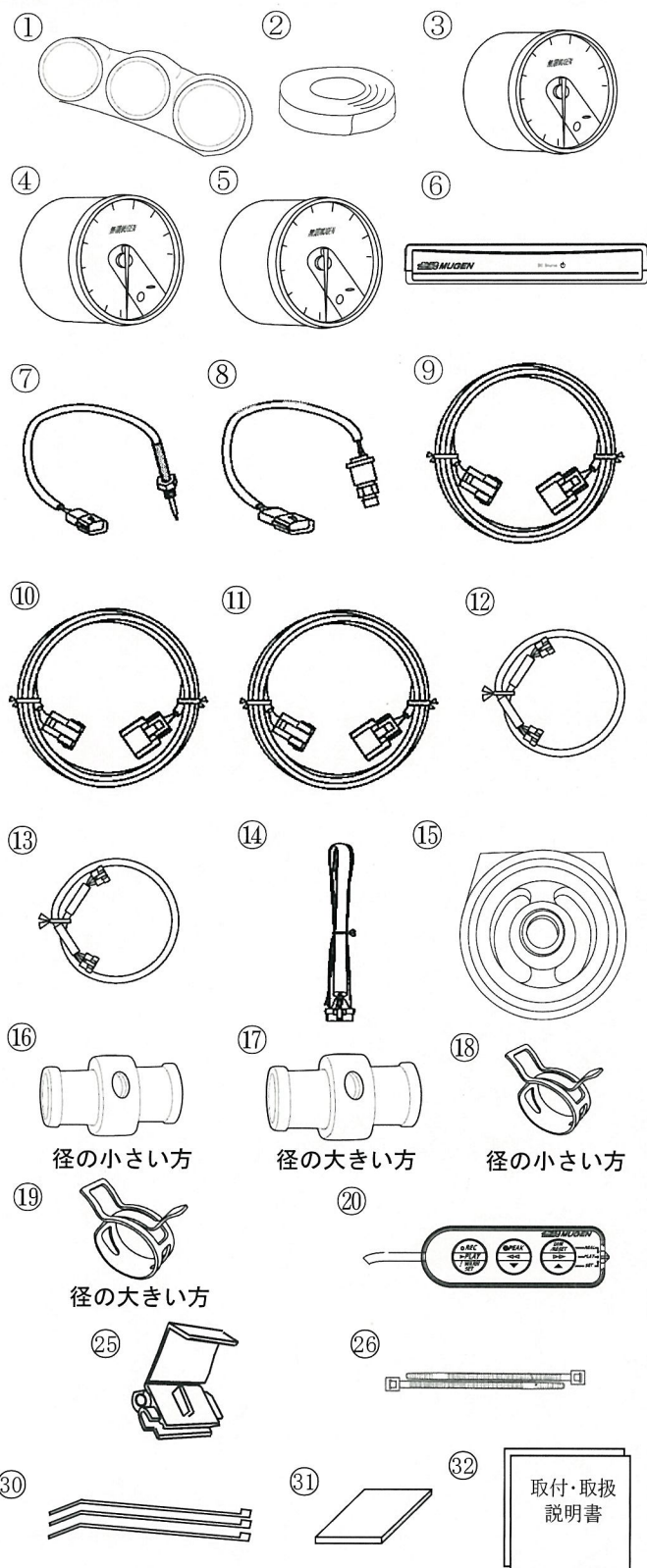
TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

お客様へ

1. 定期的にオイルや水漏れを点検し、取付け状態を確認して下さい。損傷等の異常がある場合は速やかに補修を行って下さい。
2. 走行中は安全の為、長時間凝視しないで下さい。前方不注意等による事故の原因となる為、大変危険です。
3. 天候その他の条件によっては、アシストメーターのガラス面が反射して見にくい場合があります。
4. アシストメーターを取付けることにより、前方の視界に影響を与える場合があります。運転には十分注意して下さい。
5. スイッチユニットの操作は必ず安全な場所で停車した状態で行って下さい。走行中の操作は前方不注意等による事故の原因となり大変危険です。

【構成部品表】

No.	PARTS NAME.	QTY.
①	メーターフード	1
②	両面テープⅠ (12mm×0.8mm)	1
③	ウォーターテンプメーター	1
④	オイルテンプメーター	1
⑤	オイルプレッシャーメーター	1
⑥	コントロールユニット	1
⑦	温度センサ(水温、油温用)	2
⑧	圧力センサ (油圧用)	1
⑨	水温センサハーネス(2極桃)	1
⑩	油温センサハーネス(2極茶)	1
⑪	油圧センサハーネス(3極黒)	1
⑫	メータハーネス(4極白 0.25m)	2
⑬	メータハーネス(4極白 2.0m)	1
⑭	電源ハーネス	1
⑮	オイルセンサアタッチメント	1
⑯	小径水温センサアタッチメント	1
⑰	大径水温センサアタッチメント	1
⑱	小径用ホースクランプ	2
⑲	大径用ホースクランプ	2
⑳	スイッチユニット	1
㉑	リングラバー	3
㉒	コントロールユニット取付ナット※	4
㉓	コントロールユニット取付ボルト※	4
㉔	エレクトロタップ(2個のみ使用)	4
㉕	異径線用エレクトロタップ	2
㉖	タイラップ(白)	2
㉗	両面テープⅡ	1
㉘	ハーネスクリップ	1
㉙	コルゲートチューブ	1
㉚	タイラップ(黒150mm)	15
㉛	スポンジ (60×60mm)	3
㉜	取付・取扱説明書	1



※ ㉒ ㉓ は本取扱説明書では使用しませんがコントロールユニットを推奨位置以外に取付ける等で必要な際はご使用下さい。

【取付け時に用意して頂くもの】

- ・シールテープ
- ・ビニールテープ
- ・エンジンオイル
- ・ロングライフクーラント
- ・コーキング剤
- ・アルミテープ
- ・クッションテープ
- ・サンドペーパー

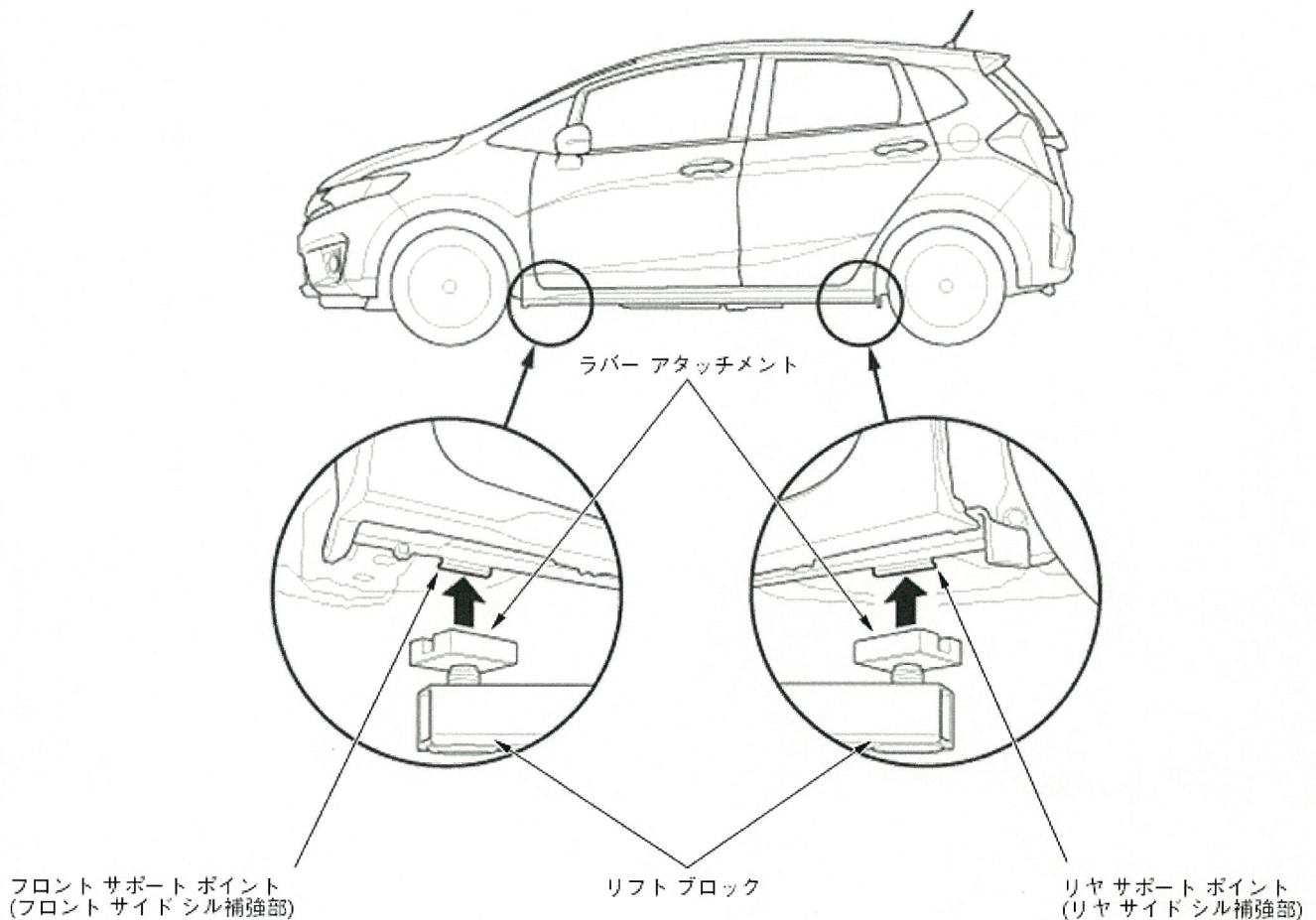
【必要工具】

- ・ボックスレンチ
- ・オイルフィルタレンチ
- ・クリップリムーバ
- ・プラスドライバ
- ・カッターナイフ
- ・ドリルφ3・φ6・φ8・φ12
- ・イソプロピルアルコール
- ・ニッパー
- ・プライヤー
- ・トルクレンチ

1. 取付け準備

《注意》 ・ 車体に傷を付けないよう注意して作業を行うこと。

- ① リフトアップまたはジャッキアップし、サイドシル補強部にリジットラックをあてがう。
- ② リフトアップまたはジャッキアップ状態の安全を確認する。



注意

- ・ 指定した位置以外でリフトアップしないこと。
- ・ ボディに傷をつけないように注意すること。
- ・ リフト使用時は、必ずリフトの取扱説明書を参照し、安全に注意して作業を行うこと。
- ・ ジャッキアップ時は必ずリジットラックを使用すること。
- ・ 短時間の作業でもジャッキのみでの作業は絶対にしないこと。
- ・ ジャッキアップしたままで、車両の下には入らないこと。
- ・ フロントをジャッキアップする時は、パーキングブレーキを必ずかけること。

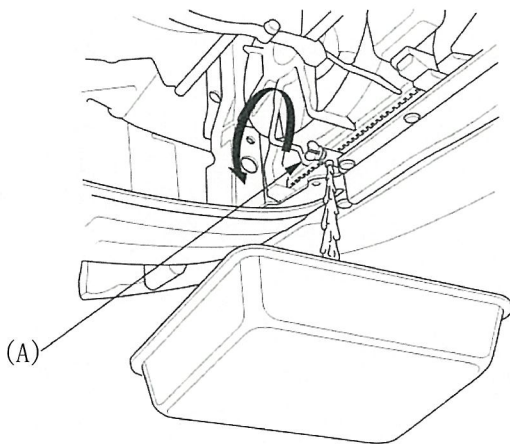
2. 水温センサの取付け

- ・純正パーツの取付け・取外しは必ずサービスマニュアルを参照すること。
- ・エンジン停止直後は各部が高温になっている為、作業は行わないこと。火傷を負う恐れがあり大変危険です。

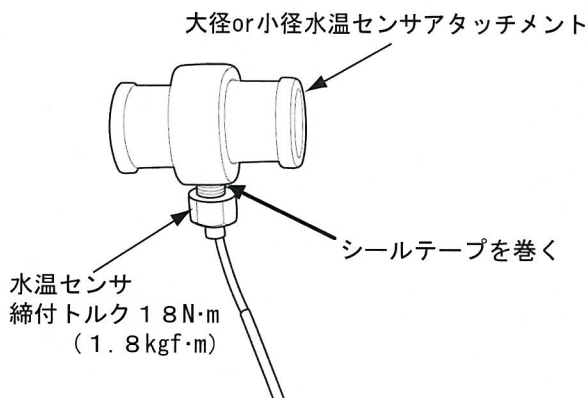
①エンジン アンダー カバーを取外す。
※サービスマニュアルを参照のこと。

②エンジンが冷えているのを確認し、ラジエータ キャップを取外す。
※水温が高い時にキャップを外すと、冷却水が吹き出し危険な為、水温が下がってから静かに開けること。

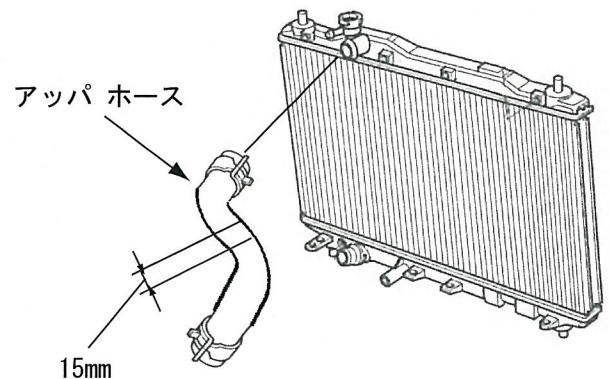
③ドレン コック (A) をゆるめ、冷却水を抜き取る。
※冷却水を再利用するときは、清潔な容器に回収し、ごみやほこりが入らぬよう注意すること。



④付属の温度センサのネジ部にシールテープを2巻き程度巻き付け、付属の水温センサアタッチメントに規定トルクで締付ける。
※グレードによってラジエータのアップホース径が違う為、ホースの外径が約φ40の場合は大径水温センサアタッチメント、約φ37の場合は小径水温センサアタッチメントを使用すること。

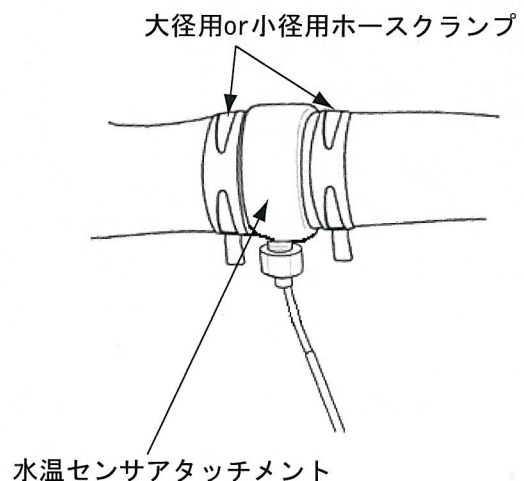


⑤ラジエータのアップ ホースのストレート部分をカット (約15mm) する。
※ホースは垂直にカットすること。



(ストレート部分をカット)

⑥付属のホースクランプ2個をカットしたアップ ホースの両側に通し、水温センサアタッチメントを下図のように取付ける。
※エア溜まりを防ぐ為、温度センサを水平から下方向に向けて取付けること。
※付属のホースクランプも大径水温センサアタッチメント用と小径水温センサアタッチメント用の2種類がある為注意すること。



⑦冷却水のドレン コック (A) を締付ける。

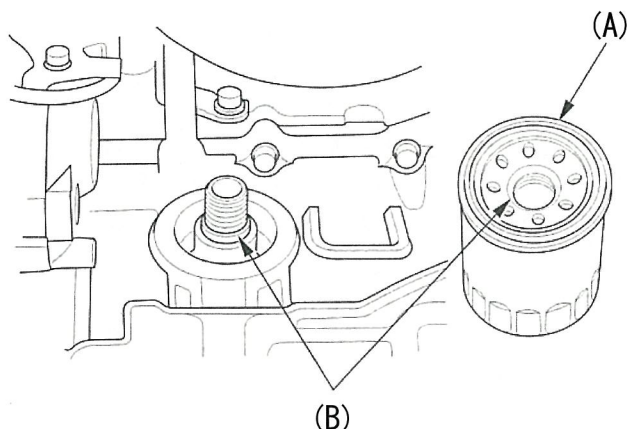
⑧ラジエータ キャップを取付ける。

3. 油温・油圧センサの取付け

①オイル フィルタ レンチでオイル フィルタ を取外す。

※オイル フィルタ 着座部 (A)、ネジ部 (B) 及びパッキンの打痕、損傷を点検すること。

※オイル フィルタ 内のオイルが出てくる為 注意すること。

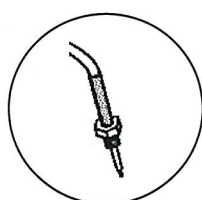
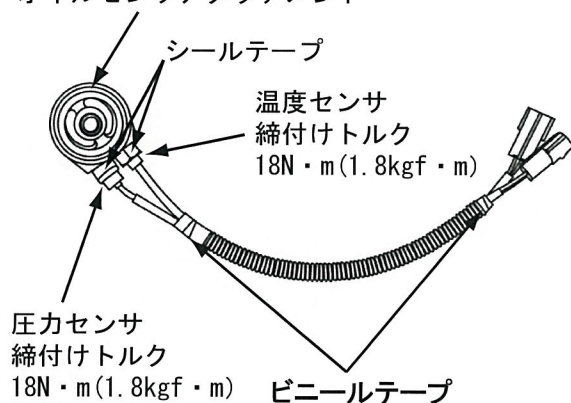


②付属の温度センサと圧力センサのネジ部に シールテープを2巻き程度巻き付け、付属 のオイルセンサアタッチメントに取付ける。

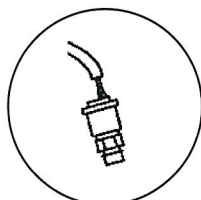
※センサの先端がオイルセンサアタッチメン トに接触しないよう注意して取付ける こと。

③付属のコルゲートチューブを200mm程度切り、センサのハーネスに被せて両端をビニールテープで固定する。

オイルセンサアタッチメント



温度センサ



圧力センサ

④⑤の図に従ってオイルセンサアタッチメン トをエンジン側のネジ部 (B) に取付け、規定トルクで締付ける。

※Oリングにオイルを塗布すること。

※センサがエンジンやエンジン補機類と干渉しないよう注意すること。

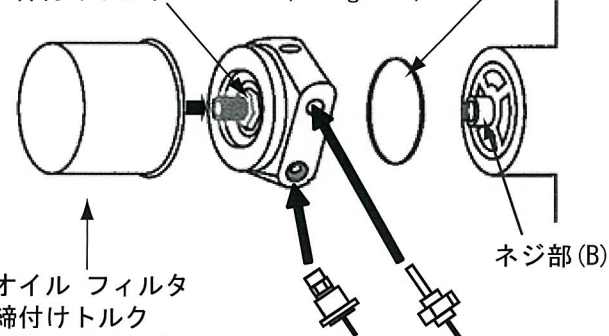
※センサ取付け時、ハーネスのねじれに注意すること。

⑤オイル フィルタを取付け、規定回転角または規定トルクで締付ける。

※オイル フィルタを規定回転角で締付ける場合は、サービスマニュアルを参照のこと。

オイルセンサアタッチメント

締付けトルク $34\text{N} \cdot \text{m}$ (3.5kgf · m)



圧力センサ 温度センサ
締付けトルク 締付けトルク
 $18\text{N} \cdot \text{m}$ $18\text{N} \cdot \text{m}$
(1.8kgf · m) (1.8kgf · m)

⑥エンジン アンダー カバーを取外しと逆の手順で取付ける。

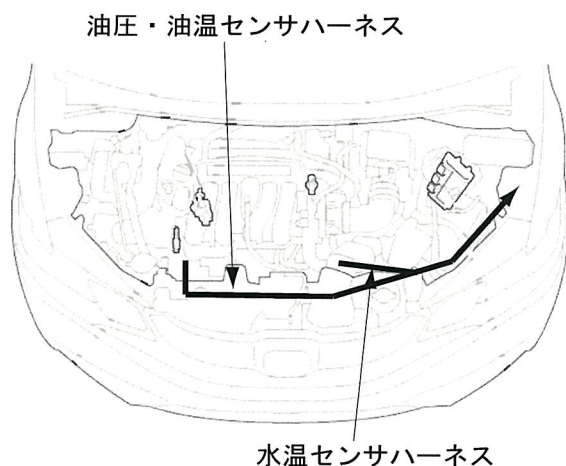
※サービスマニュアルを参照のこと。

4. ハーネスの引き込み

- ① バッテリーのマイナス端子の接続を外す。
※メモリ機能の記憶が消去される場合がある為、その際はサービスマニュアルを参照の上再設定を行うこと。

- ② 温度（水温、油温）センサ、圧力（油圧）センサのカプラを付属の水温センサハーネス、油温センサハーネスおよび油圧センサハーネスにそれぞれ接続する。該当

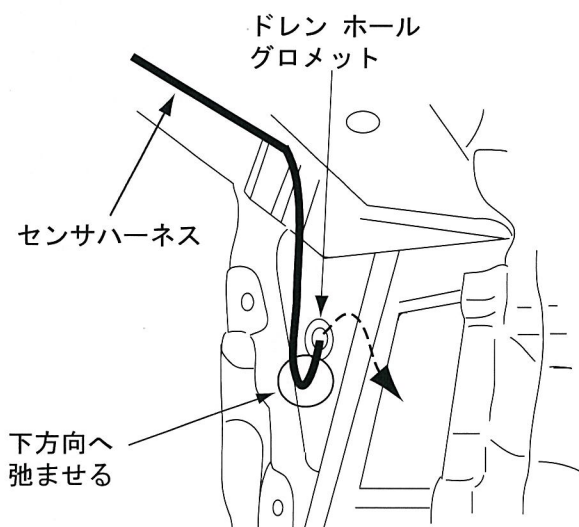
- ③ 水温センサハーネスと油温・油圧センサハーネスを左ライト後方の開口部からフェンダー内に引込む。



- ④ エンジンルーム内のセンサハーネスに付属のコルゲートチューブを巻き、両端部および150mm～200mm間隔でビニールテープを巻き付ける。
※雨水等がコルゲートチューブ内に浸入しないよう、割面を下に向けること。

- ⑤ センサーハーネスが動かないようにして車両のハーネス等に付属のタイラップにて仮固定する。

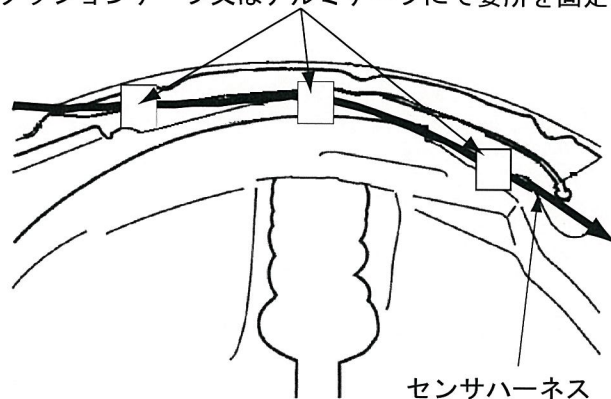
- ⑥ 左フロント インナ フェンダをサービスマニュアルに従って取外し、ドレン ホール グロメットの中央に十字の切込みを入れセンサハーネスを車内に引込む。
※他のハーネスへの損傷と引込み時のセンサハーネスのカプラ破損に十分注意すること。
※雨水等がセンサーハーネスを伝い車内に侵入しないようハーネスを車内に入る手前で一度下方向に弛ませること。



- ⑦ ④と同様にフェンダー内のセンサハーネスにも付属のコルゲートチューブを巻き、両端部および150mm～200mm間隔でビニールテープを巻き付ける。
※雨水等がコルゲートチューブ内に浸入しないよう、割面を下に向けること。

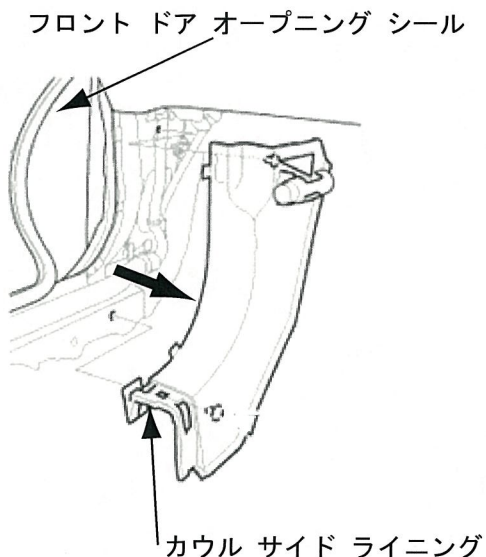
- ⑧ フロント ホイール ハウス アップ メンバにコルゲートチューブを巻き付けたセンサハーネスを沿わせ、クッションテープやアルミテープ等で固定する。
※クッションテープやアルミテープ貼付面はイソプロピルアルコール等で油分・汚れ等を拭取ること。
※クッションテープやアルミテープにてクリップ穴を塞がないように注意すること。
※任意の位置にエプトシーラ等をコルゲートチューブに巻きつけ車体との防音を行うこと。

クッションテープ又はアルミテープにて要所を固定



- ⑨ ドレン ホール グロメットの切込み部分雨水等が浸入組内容をコーキング剤にて防水処理をする。

- ⑩フロント ドア オープニング シールをめくり、助手席側カウル サイド ライニングを取外す。
※サービスマニュアルを参照のこと。

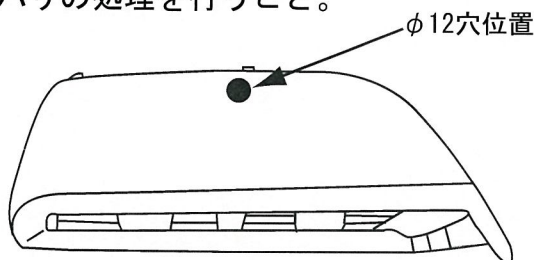


- ⑪アシスタント アンダ カバーを取外す。
※サービスマニュアル参照のこと。
- ⑫車内に引込んだハーネスを他の部品や配線への干渉にならないよう、助手席の足元へ引き込む。
※センサハーネスが動かないよう付属のタイラップにて他の配線に仮固定すること。
※他の部品や配線への干渉、妨げにならないよう注意してハーネスを取回すこと。
- ⑬仮固定をしていた各々のタイラップを締めてセンサハーネスを固定する。
- ⑭左側フロント インナ フェンダとカウル サイド ライニングおよびアシスタント アンダ カバーを取付ける。
※サービスマニュアルを参照のこと。

5. 車内への設置(コントロールユニット以外)

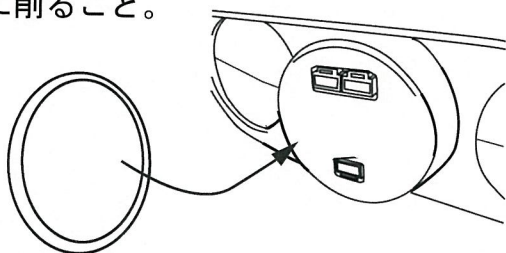
- ①メータ バイザを取外す。
※サービスマニュアルを参照のこと。
- ②センタ アップ リッドを取外す。
※サービスマニュアルを参照のこと。
- ③ナビゲーションユニットまたはオーディオユニットを取外し、各カプラの接続を外す。
※サービスマニュアルを参照のこと。
※取外す前にバッテリーのマイナス端子の接続が外れているか確認すること。

- ④取外したセンタ アップ リッドの下図の位置にφ12の穴をあける。
※取付け前後穴位置の裏側に物が無いことを確認して穴あけを行うこと。
※3mmのドリルにて下穴をあけた後、少しづつ穴径を大きくすること。
※バリの処理を行うこと。

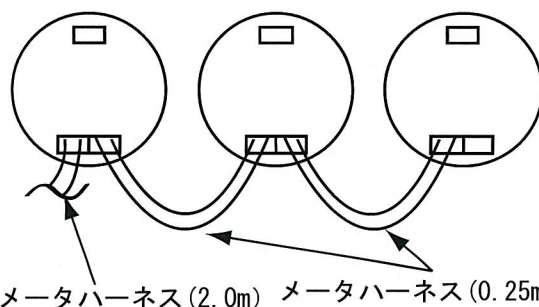


- ⑤センタ アップ リッドを仮付し、付属のメータハーネス(2.0m)を④にてあけた穴に上から通し、ナビゲーションユニット裏またはオーディオユニット裏を経由してコントロールユニット取付け位置付近まで引込む。
※メータハーネスは200mm程度上に出し、テープ等で仮固定しておくこと。
※コントロールユニットを推奨位置に設置の場合は助手席足元まで引込むこと。

- ⑥付属のメータフードに付属のメータを挿入し、裏側から付属のリングラバーを入れてメータフードとメータを固定する。
※リングラバーのゴム端厚さが厚い方がメータフードと接触するよう取付けること。
※メータフードにメータが入り難い場合は、サンドペーパーにてメータ穴を円周方向に削ること。



- ⑦⑤にて出しておいたメータハーネス(2.0m)をメータに接続し付属のメータハーネス(0.25m)にて残りのメータ間を接続する。



- ⑧付属の電源ハーネスの3本(黒, 赤, 橙色線)をナビゲーションユニットまたは、オーディオユニットのカプラA(24P)と接続する。
※配線図集のナビゲーションまたはオーディオユニットカプラA(24P)の端子配列の番号と線色を確認して接続すること。
※YOPオプション用ナビゲーションカプラ装備車は④にイルミ線を有す為、4本とも接続すること。
※エレクトロタップを使用する場合は確実に接続し、スペースに注意すること。
※カプラA(24P)側の①, ③の黒(GND線)と緑(常時電源線)は太線の為、異径線用のエレクトロタップを以下の図のように接続すること。
※ハンダ付けの際には火傷に注意する。

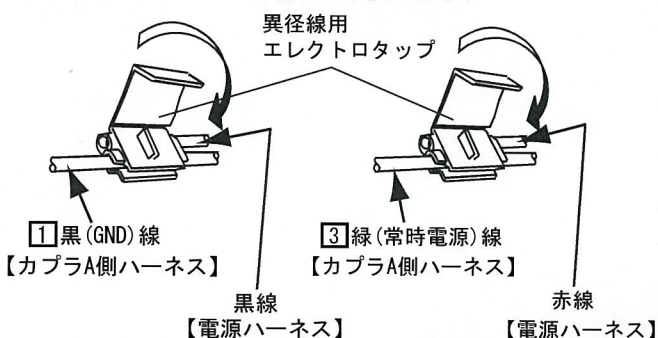
ナビ・オーディオユニット カプラA (24P) 端子配列

2	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	1
4	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	3

メス端子のコード側

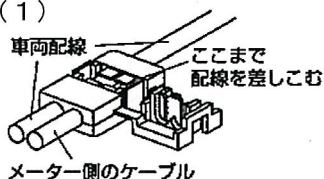
- | 車両ハーネスカプラA | 電源ハーネス |
|----------------|---------|
| ① 黒…GND線(太線) | → 黒線と接続 |
| ③ 緑…常時電源線(太線) | → 赤線と接続 |
| ②④ 紫or赤…ACC電源線 | → 橙線と接続 |
| ④ 灰…イルミ線* | → 白線と接続 |
- (※YOPオプション用ナビゲーションカプラのみ)

※エレクトロタップ(異径線用)使用方法

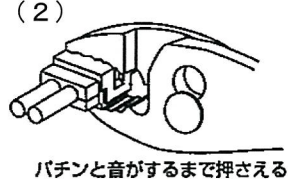


※エレクトロタップ使用方法(異径線以外)

(1)



(2)



※ハンダ付けの場合

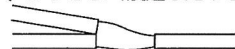
(1) 配線の被覆を剥く



(2) 剥いた配線を巻き付ける



(3) ハンダを盛る
(ハンダがよく浸透したのを確認する)



(4) 絶縁テープをしっかりと巻く



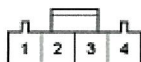
⑨同様に電源ハーネスの残りの1本(白色線)を、以下に接続する。

※配線図集にてカプラの位置と線色を確認すること。

※⑧にてYOPオプション用ナビゲーションカプラ装備車で電源ハーネスを4本とも接続済みの場合作業は行わないこと。

マニュアルエアコンディショナー装備車の場合

ヒータコントロールユニット カプラ〈BD40〉



メス端子のコード側

車両ハーネスカプラ

電源ハーネス

④ 灰…イルミ線 → 白線と接続

オートエアコンディショナー装備車の場合

コンソールボックスライト カプラ〈BD11〉



メス端子のコード側

車両ハーネスカプラ

電源ハーネス

② 灰…イルミ線 → 白線と接続

⑩電源ハーネスのコネクタをコントロールユニット取付け位置付近まで引込む。

※コントロールユニットを推奨位置に設置の場合は助手席足元まで引込むこと。

⑪ナビゲーションユニットまたはオーディオユニット、センタ アッパ リッド、メータバイザの順に取外しと逆の手順で取付ける。

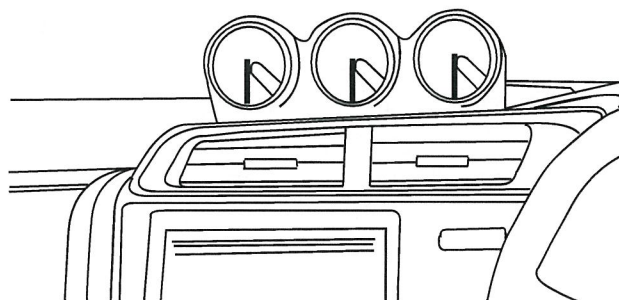
※サービスマニュアル参照のこと。

⑫メータフード裏側の接着(折返し)面に両面テープⅠを貼付け、取付け完成図のようにメータフードを固定する。

※両面テープの貼付け面はイソプロピルアルコール等で油分・汚れ等を拭取ること。

※気温が10℃以下の場合は暖めてから貼付けること。

※固定する際に、接地面に浮きや隙がでないように圧着して固定すること。



取付け完成図

6. コントロールユニットの設置(推奨位置)

※コントロールユニットを推奨位置以外に設置の場合はP10の作業は行わない為注意すること。

※推奨位置以外に取付ける場合はハーネスを含め運転操作や可動物の妨げにならない場所に取付けること。

※コントロールユニット裏の製品番号ラベルに両面テープを貼らないこと。

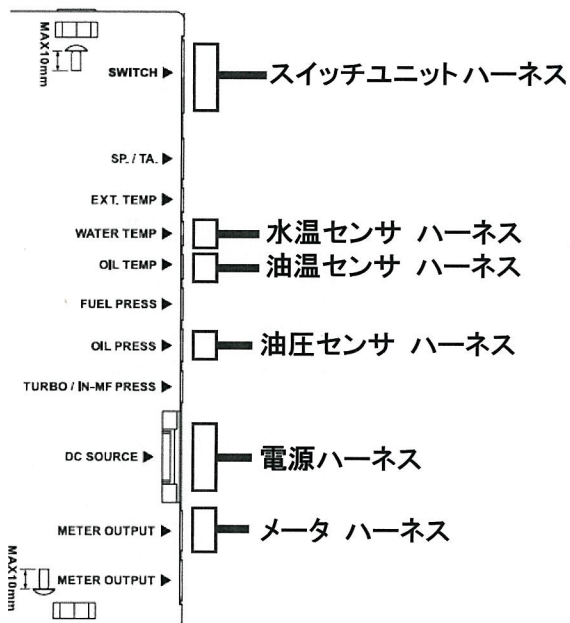
①付属のコントロールユニットへの各センサーハーネス接続を下図に従って接続する。

※ハーネスはノイズなどの障害を発生させないように取回すこと。

※余ったハーネスを束ね、タイラップで固定すること。

※コントロールユニットのカプラ指示に従い、接続すること。

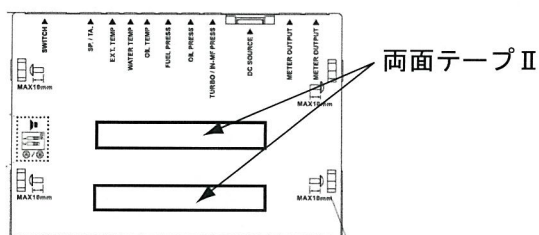
コントロールユニット



②コントロールユニットの下図の部分へ両面テープⅡを張付ける。

※両面テープの貼付け面はイソプロピルアルコール等で油分・汚れ等を拭取ること。

※気温が10℃以下の場合は両面テープを暖めてから貼付けること。



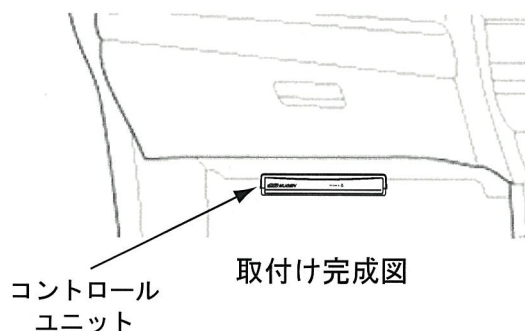
③下図のようにアシスタント アンダ カバーの平面部にコントロールユニットを貼付ける。

※エアコンの通風口を塞がないよう注意すること。

※両面テープの貼付けを行うとコントロールユニットのディップスイッチ操作が行えなくなる為、P11, P12およびP14を参照の上、あらかじめ設定を行うこと。

※両面テープの貼付け面はイソプロピルアルコール等で油分・汚れ等を拭取ること。

※気温が10℃以下の場合は両面テープを暖めてから貼付けること。



④スイッチユニットを任意の位置に両面テープを用いて貼付ける。

※ハーネスを含め運転操作や可動物の妨げにならない場所に取付けること。

※製品番号ラベルの位置には両面テープを貼らないこと。

⑤全体の作業を通し、各部の取付状態が完全であるか確認する。

⑥バッテリーのマイナス端子を接続し、アシストメータの作動確認を行う。

※エンジンを始動しないこと。

⑦エンジンオイルの量を点検し、必要ならば補充する。

⑧冷却水を入れ、冷却水エア抜きを行い、エンジンオイル・冷却水の漏れがないか点検する。

※サービスマニュアルを参照のこと。

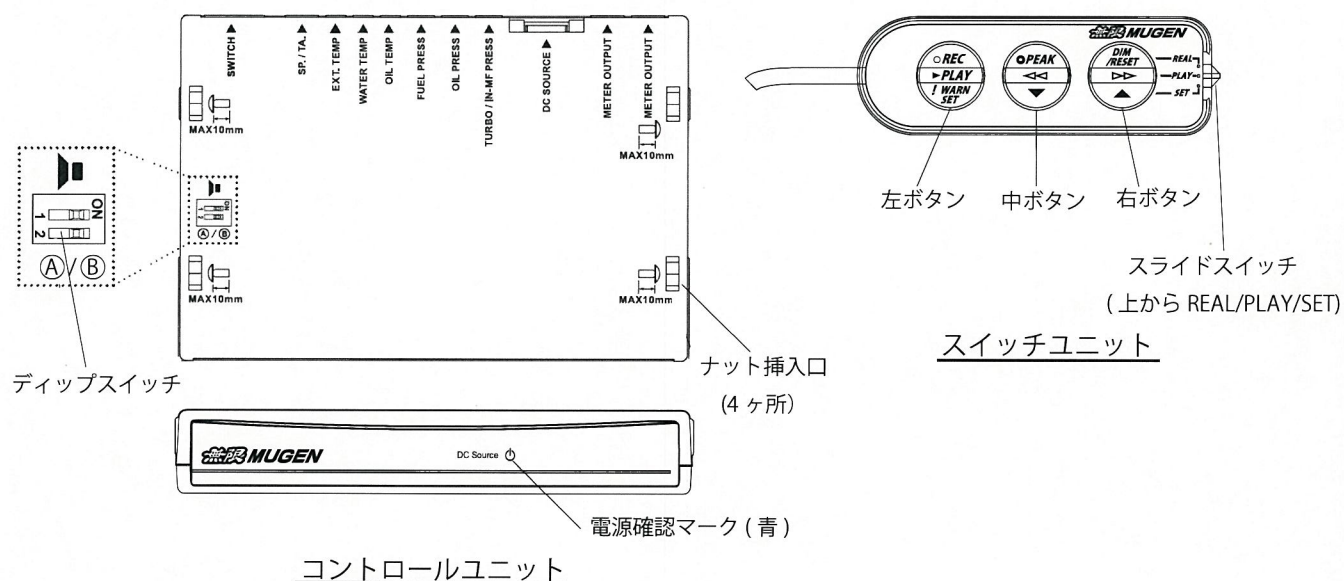
⑨ジャッキアップを降ろす。

7. 操作方法

操作方法の説明では、ボタンの押し方が「押す」方法と「長押し」方法の2種類出てきます。「押す」の場合は1秒未満ボタンを押してください。「長押し」の場合は1秒以上ボタンを押してください。

1. 各部名称と動作確認および設定

1-1. コントロールユニット&スイッチユニットの各部名称



1-2. 動作確認・設定

1. イグニッションを ON し、コントロールユニットの電源確認マークが点灯していることを確認してください。

2. オープニングモードが行われることを確認してください。

※2. オープニング・エンディングモード参照

3. メーターにオープン・ショートのエラー表示が出ていないことを確認してください。

※3-2. オープン・ショート・シリアル通信のエラー表示参照

エラー表示が出ている場合

→イグニッションを一旦 OFF にし、エラー表示が出ているセンサー及びセンサーハーネスをご確認ください。

4. 各メーターのワーニング値と各メーターの照明色を設定してください。

※4-3. 照明色の変更参照

5. メーターが正常に動作することを確認してください。確認ができれば設定は終わりです。

警告 設定・確認は必ず車を停止した状態で行ってください。

2. オープニング・エンディングモード

イグニッションを ON するとメーターがオープニングモードを行います。また、全ての状態において、イグニッションを OFF するとメーターがエンディングモードを行い、モード終了後にコントロールユニットとメーターの電源が切れます。

※設定の途中で OFF にすると設定内容は保存されません。

※電源ハーネスが正常に配線されている場合、オープニングモード開始時からコントロールユニットの電源確認マークが青く点灯します。点灯していない場合や点滅している場合はイグニッションを一旦 OFF にし、配線を確認ください。

2-1. オープニング・エンディングモードの変更

コントロールユニットに付いているオープニング・エンディングモード切替用のディップスイッチ 2 をスライドさせることで、オープニング / エンディングモードを A タイプと B タイプの 2 種類から選ぶことができます。

※モードの変更はイグニッション OFF 時に行ってください。全てのメーターのモードが切り替わります。

※外光の明るさによっては照明が点灯していることがわかりづらい場合があります。

3. リアルモード（スライドスイッチ位置：REAL）

オープニングモード終了後にリアルモードへ移行します。リアルモード中は車両情報をリアルタイムに表示します。

3-1. ワーニング

設定したワーニング値以上で当該メーター内のワーニング LED が点灯します。

3-2. オープン・ショート・シリアル通信のエラー表示

センサーがオープン、またはショートしている場合は当該メーターのワーニング LED が点滅します。一度、オープンかショートのエラー表示が出ると、イグニッションを OFF にするまで点滅が続きます。油圧のショートメッセージはショートしている間だけ表示します。また、メーターとコントロールユニット間で通信ができなくなった場合は、シリアル通信エラーが表示され、ワーニングとピーク LED が同時に点滅します。



※エラーが表示された場合は速やかにイグニッションを OFF にし、センサーや配線を確認してください。原因がわからない場合は、販売店または取り付け店に検査を依頼してください。

3-3. 照明

車両のイルミスイッチに連動して点灯 / 消灯します。また、REAL モード・REC モード・PLAY モード中に右ボタンを数回押すと、車両のイルミ ON 時に照明を消すことができます。5 回中 1 回消灯します。(イルミキャンセル)

4. 設定モード（スライドスイッチ位置：SET）

任意のワーニング値を設定することで、その値以上になったとき（油圧の場合はその値以下になったとき）に当該メーター内のワーニング LED が点灯します。また、各メーターの照明色を変更することができます。

○ワーニング初期位置一覧

メータ	ワーニング初期値	単位	設定範囲		点灯条件
			最小値	最大値	
油圧	120	kPa	0	1000	設定値以下
油温	125	°C	50	150	設定値以上
水温	105	°C	20	120	設定値以上

※車の種類やコンディションによってはワーニング初期値以下（油圧は初期値以上）でも車両にダメージが加わる場合がありますので、販売店または取り付け店に相談し、設定値を検討してください。

4-1. ワーニング値の設定

1. スライドスイッチを SET に合わせます。
2. 左ボタンを押すと設定モードに移行します。
3. 左ボタンを押して設定するメータを選択します。

選択メータ	未選択メータ
ワーニングLED 点滅 文字板照明高輝度点灯 (車両イルミON 時)	ワーニングLED 消灯 文字板照明低輝度点灯 (車両イルミON 時)

※接続されていないメータは選択されません。選択される順番は以下の通りです。

油圧→油温→水温

4. 設定したいメータが選択された状態で、中ボタンを押すと設定値が下がり、右ボタンを押すと設定値が上がります。それぞれのボタンを長押しすると設定値が早く変わります。
5. スライドスイッチを REAL または PLAY に戻してください。

4-2. ワーニングブザーON/OFF の変更

コントロールユニットに付いているディップスイッチ1：ブザーのON/OFF 切替スイッチをスライドさせることでワーニング発生時のブザーのON/OFF を設定することができます。スイッチ操作音はOFF できません。

※ON/OFF の変更はIGN OFF 時に行ってください。

4-3. メータ照明色の変更

1. スライドスイッチをSETに合わせます。
2. 左ボタンを押すと設定モードに移行します。
3. 左ボタンを押して設定するメーターを選択します。
4. 照明色を変更したいメーターが選択された状態で、中ボタンと右ボタンを同時に押すと照明色が変わります。（車両のイルミススイッチをON にしてください。）

ブルー ⇄ アンバーレッド（初期設定：ブルー）

5. スライドスイッチをREALまたはPLAYに戻してください。

5. リアルピークモード（スライドスイッチ位置： REAL）

それまでの走行・アイドリング時の最大値をリアルモード中に表示するモードです。油圧は最大値と最小値を切替表示し、リセットするとその時点からのピーク値を表示します。

1. スライドスイッチをREALに合わせます。
2. 中ボタンを押すとリアルピークモード（ハイピーク）に移行し、全てのメーターが最大値を表示します。リアルピークモード（ハイピーク）中はピークLED が点灯します。
3. ハイピーク表示中に中ボタンを押すとリアルピークモード（ローピーク）に移行し、油圧計および燃圧計は最小値、それ以外のメーターは最大値を表示します。リアルピークモード（ローピーク）中はピークLEDが点灯します。
4. 中ボタンを押すとリアルモードに戻ります。

6. リアルピークリセットモード（スライドスイッチ位置： REAL）

それまでの走行・アイドリング時の最大値（油圧・燃圧は最大値と最小値）をリセットするモードです。

1. スライドスイッチをREALに合わせます。
2. 中ボタンを押すとリアルピークモードに移行します。リアルピークモード中はピークLED が点灯します。
3. リアルピークモード中に右ボタンを押すと、ピークLED が点滅しピーク値がリセットされます。リセット後はリアルモードに戻ります。ローピークとハイピークどちらの表示のときも最大値と最小値の両方が同時にリセットされます。

7. レックモード（スライドスイッチ位置：REAL）

各メーターの走行データを最大3分間記録するモードです。レックモード中はイルミキャンセルが可能です。

1. スライドスイッチをREALに合わせます。
2. 左ボタンを押すとレックモードに移行し、記録を開始します。レックモード中はピークLED が点滅します。
3. 左ボタンを押すと記録を終了し、リアルモードに戻ります。または記録開始から3分経過するとリアルモードに戻ります。

8. レックピークモード（スライドスイッチ位置： REAL）

記録を開始した時点からの最大値をレック中に表示するモードです。油圧は最大値と最小値を切替表示します。

1. レックモード中に中ボタンを押すとレックピークモード（ハイピーク）に移行し、全てのメーターが最大値を表示します。レックピークモード（ハイピーク）中はピークLED が点灯します。
2. ハイピーク表示中に中ボタンを押すとレックピークモード（ローピーク）に移行し、油圧計は最小値、それ以外のメーターは最大値を表示します。レックピークモード（ローピーク）中はピークLEDが点灯します。
3. 中ボタンを押すとレックモードに戻ります。また、左ボタンを押すとリアルモードに戻ります。記録開始から3 分経過するとリアルモードに戻ります。

9. プレイモード（スライドスイッチ位置：PLAY）

記録されているデータを再生するモードです。一時停止、コマ送り、早送り、巻き戻し等も可能です。プレイモード中はイルミキャンセルが可能です。

※3-3. 照明参照（イルミキャンセル）

1. スライドスイッチをPLAYに合わせます。
2. 左ボタンを押すとプレイモードに移行し、記録されているデータを再生します。プレイモード中はピークLED が点滅します。
3. 再生中に左ボタンを押すと再生を終了し、リアルモードに戻ります。または記録データが終了するとリアルモードに戻ります。

9-1. 再生中の操作

- ・再生中に中ボタンまたは右ボタンを押すと一時停止します。
- ・一時停止中に右ボタンを押すとコマ送り、右ボタンを長押しすると早送りになります。
- ・一時停止中に中ボタンを押すとコマ戻し、中ボタンを長押しすると巻き戻しになります。
- ・一時停止中に左ボタンを押すと再生に戻ります。

10. プレイピークモード（スライドスイッチ：PLAY）

レック中に記録されたデータの中の最大値をプレイ中に表示するモードです。

油圧は最大値と最小値を切替表示します。プレイピークモード中でもデータ再生は進みます。

1. スライドスイッチをPLAYに合わせます。
2. 左ボタンを押すとプレイモードに移行し、データを再生します。プレイモード中はピークLED が点滅します。
3. 再生中にスライドスイッチをREALに合わせます。（一時停止中でも可）
4. 中ボタンを押すとプレイピークモード（ハイピーク）に移行し、記録データ中の最大値を表示します。
5. ハイピーク表示中に中ボタンを押すとプレイピークモード（ローピーク）に移行し、油圧計は記録データ中の最小値、それ以外は最大値を表示します。
6. 中ボタンを押すとデータの再生に戻ります。またはスライドスイッチをPLAYに合わせ、左ボタンを長押しするとリアルモードに戻ります。

リアルピーク・レックピーク・プレイピークの違い

	リアルピーク	レックピーク	プレイピーク
表示されるモード	リアルモード	レックモード	プレイモード
表示値	全モードのピーク値	レックモードで記録されたデータ中のピーク値	
ピーク値の更新	全モード中	レックモード中	
ピークリセット	リアルピークモード中に操作	レック開始時にオートリセットされる	